



(※ こちらのメールマガジンは転送可となっております。  
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にどんどんお伝え下さい。)

何か新しいことを始めようと思われている友人の方、  
タイへ旅行計画を立てられている友人の方など

そのような方にもブログとメールマガジンはもしかしたら  
役に立つかもしれません。

今回は二つお知らせです。

一つはグローバルリンクの戸松さんと一緒に  
「タイ株通信」と言うメールでのマガジンを開始します。

どんな感じが見てみたい方は無料です。  
お試されたい方はこちらへどうぞ。

無料お試し期間が長いのでお勧めです。

[https://www.gladvs.com/gla/free\\_trial/thai\\_otameshi/index.php](https://www.gladvs.com/gla/free_trial/thai_otameshi/index.php)

二つめは  
ホームページを新しくしました。

こちらは動画や音声を取り入れた会員制になってます。  
また一定数集まったらこちらは募集停止しますので、

ご希望の方のみどうぞよろしく願いいたします。

<http://www.thaistock.jp/index.html>

いよいよ面白くなりそうなタイの経済ですが、  
世界経済はトーンダウンしていますので、

そのあたり気がかりなところですよ。

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

早速来ました。  
タクシン氏が帰国後その翌日に  
「外資資本流入規制」を撤廃すると発表。

このあたり、メディアでも金融の業界でも  
「近日中、来週半ばに発表」との予想を  
3月3日即撤廃決定とするなど、動きが早くなっています。

この内容は後半へ続きます。

その前に  
初心者向けにお話すると <前号の続き>

<タイのこれまで>

2006年から規模が大きくなっていった反タクシン運動。  
シン・コーポレーション株売却事件後は  
バンコクのルンピニー公園での反タクシン運動。  
スクンビット地区でのデモ行進など毎週のように  
反タクシン運動の参加者の数は増加して行きました。

これによりタクシン首相（当時）は  
今後の首相指名に対しての辞退発言や  
大規模プロジェクトの延期の発表など、  
政局の見通しが不透明な状態がしばらく続きました。

その後、  
2006年9月19日。

バンコクの中心部で19日夜、  
タイ軍の戦車がタイ政府庁舎の周囲を封鎖、  
戦車部隊の一部が首都の中心部へ向かって移動。  
この事態を受け、タイのタクシン首相は同夜、  
ニューヨークから、非常事態宣言を発令。

しかしタイの各放送局も閉鎖され、  
ここから暫定政権による（軍部の）新しい政治が  
スタートしたかたちです。

背景として  
現実問題タイの地方（北部や東北部）では人気があり  
（お金ばら撒き政策で）  
バンコクなどの中間富裕層と反タクシン派だけが  
反対しても選挙には勝てないと判断した結果のクーデター

だったということもできます。

この暫定政権はどのような政策を進めたかは次回に。

□□ No2 タイ株上級者編です ■■

タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● サイアムシティバンク(SCIB) 034 です。 ○○

こちら前回のバンクタイ同様、タイの中堅銀行になります。

現時点で7位の資産規模。

(サイアムコマーシャル銀行 SCB とは別銀行です)

赤のイメージカラーでバンコク市内でも時折見かけます。

1988年4月にSETに上場しています。

1941年にタイ王室財産管理局、タイの政府が出資して設立しましたが、その後、華人の資本での経営となり、97年の経済危機に国有化されました。

この時に国有化されたBMB銀行(バンコクメトロポリタン銀行)と

2002年に合併しています。

2007年には

タイで人気のお守り「ジャトゥカーム・ラーマテープ」を

口座開設者にプレゼントするキャンペーンを開始したことで

ニュースになりました。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

これほど早く撤廃を決めるとは

思っていなかった管理人ですが、タクシン氏が帰国して

すぐの方針だけあってその影響があるのでしょうか。

タイの中央銀行は2月29日

海外からの資本流入に際してその30%を金融機関が保管する短期的な資本流入規制を3月3日(月)に全面撤廃をすると発表しました。

もともと、

この規制は過度なバース高を防ぎ、海外から

バースの投機的な動きをさせないために導入が提案され、

アジア通貨危機といわれた 1997 年の状況を引き起こさないための措置として取られたものでした。

実施後は海外からの投資家の反発を招き、  
12月20日のタイ証券取引所では  
株価の大暴落を招くなどし、SET 総合指数も100ポイント以上下げる結果となりました。

その後は規制条件の見直し、緩和をしていきましたが、  
今回完全撤廃は1年と2ヶ月ぶりになります。

ちなみに・・・。  
管理人はこのニュースを聞いたその日、  
レートの良いと言われる両替商へ出掛けていくと、

パーツ購入したい場合  
「100円 =30.20パーツだよ。」と言われました。  
翌日、  
「100円 =29.55パーツだよ。」と言われ驚きました。

※ FXなどをさされていて  
「国民の力党勝利」→  
「あ、外資規制が撤廃されるな」→  
「そうするとパーツはオフショアレートに近づくな」→  
「じゃあパーツは確実に上がるな」  
と読みきった方はニンマリでしょう。

銀行ではすでに  
「100円 =29.46パーツ」  
来週明けてどうなるのか・・・。

□□      No4 追伸です      ■■

ちょっと同じ話になりますが、

日本では代々木公園にて「タイ・フェスティバル」が開催されます。

タイフェスティバルを知らない方はこちらへ。

<http://www.thaifestival.net/>

日本に住むタイ好きな人向けに  
非常に面白いお祭りが2日間開催されます。

2008年度は5月10日(土)、11日(日)のようです。

10:00～20:00までの開催です。

なんと2007年は30万人以上が来場。  
タイの認知度が年々上がっています。

タイ大使館でも告知が開始されています。

<http://www.thaiembassy.jp/rte1/content/view/722/73/>

この時期は予定を空けておいて東京でタイフード、タイ製品  
タイ文化を満喫できると思います。

タイの企業を詳細に解説した

「タイ株完全マニュアル企業情報編41社」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990500/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイ株取引をどうやって始めるかを解説した

「タイ株完全マニュアル口座開設改訂版」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990551/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイで働いた経験やタイビジネスをまとめた

「タイビジネスは止められない」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4778200527/asianstocktha-22/ref=nosim>

そして

タイの企業をデータよりもその背景を解説した

「日本人が知らなかったタイ株」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

以上の書籍の感想等、  
読まれた方からも是非いただくと幸いです。

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

最後までお読みいただきましてありがとうございました！

<有料会員ご希望の方はこちら>

『タイの現地で詳しく調べるタイ株情報』

<http://www.thaistock.jp/tips.html>

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

<タイ株の阿部を詳しく10秒で知りたい方はこちら>

<http://www.thaistock.jp/pf.html>

---

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之

TOSHIYUKI ABE

Managing Director

ASEAN JAPAN CONSULTING Co.,Ltd.

TEL 001-66-81441-2303 (Direct Call)

JP

+81 5055395053

Call (IP電話)

E-mail [abe@thaikabu.net](mailto:abe@thaikabu.net)

(今後は電話でもメールでも受付いたします。)

Blog <http://toatoa.jugem.jp/>

Homepage <http://www.thaistock.jp>

<http://www.newsclip.be/blog/kabu/>

ニュースクリップにてブログ連載中です。

<http://worldinvestors.jp/>

ワールドインベスターズにて

タイ株初心者コミュニティ管理人です。

[http://www.adc-thailand.com/j-concierge/Thai\\_Kabu.html](http://www.adc-thailand.com/j-concierge/Thai_Kabu.html)

ADCタイランドにて

タイ株の解説しています。

<http://www.panrolling.com/blog/index.html>

パンローリングにて著者の会ブログに参加しています。

<http://asiamoney.mag2.com/>

まぐまぐ新興国株特集のブログも参加しています。

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.



